みなと区 突撃インタビュー 人物列伝

●――7

少年野球MINATO連合会長――駿河通友さん（波除）

<上>

少年選手たちに囲まれる駿河さん。「野球を通じて世の中の誘惑に負けない強さを身に付けてほしい」＝波除グラウンドで

「野球を通じて人間形成を」と軟式六チーム（港ヤンキース、福崎ヤンチャーズ、北恩加島少年野球部、市岡アトミック、弁天ホワイトボーンズ、港侍ジャイアンツ）が少年野球MINATO連合を設立したのは平成十一年。以来、その指揮を執り続ける駿河通友さん（六〇）に、野球少年少女とのふれあいの中で重ねた喜びや苦労、今後の夢などを訊いてみました。

◇

◆卒団生に毎年贈る「負けないで、自分に！」の言葉が好評ですがー

世の中がますます有害な物で溢れ返る中、「野球で鍛えられた強い自分が弱い自分に負けないように」という気持ちを込めています。昔観た青春ドラマでそんな台詞があったのを思い出し、使うようになりました。

◆確かに愛情のこもったいい言葉ですね。ところで少年野球との関わりは？

岡山市に生まれた私は高校卒業後に港区の鉄工所に就職し、職場で草野球を楽しみながら地域の子供会にも関わるようになりました。そのハイキングで三年生の男の子が足を捻挫し、私が負ぶってやりました。その子が背中で言いました。「あのな兄ちゃん、僕ソフトボールやってんねんけど、ほんまは野球やりたいねん」「そうか、ほんなら野球が好きな子を集めてくれ」「わかった！」。すぐに十一人が集まり、港侍ジャイアンツが誕生しました。二十六歳の時でした。

野球通じて人間形成

〝指導〟の喜びと難しさ実感

◆いい話ですね。以来三十四年、どんな指導を？

子供らが野球の楽しさや勝つ喜び、技術向上の達成感を味わいながら、チームワーク、礼儀、生活規律といった人間としての基本を身に付けられるよう指導してきました。

とはいえ一番気を遣うのは子供らの安全です。幸いは過去に野球での事故はありませんでしたが、結成して四～五年経った頃、五年生の選手が交通事故で亡くなったことがありました。葬儀でのお母さんの半狂乱の姿を見て「もう少年野球はやめよう」と思いました。何とかとどまりましたが、その時、「子供を絶対事故に遭わせない」と誓いました。

◆辛い経験の上に今があるのですね。指導で苦労するのはどんな点ですか？

チームを結成した頃、私の指導は厳しいことで有名でした。規律を守れない子や努力に欠ける子にはビンタを加えることもありました。しかし今は社会全体が、大事に育てることと甘やかすことを混同し、暴力や体罰にも非常に敏感になっていますから、そうした厳しさが理解されにくい難しさがあります。もちろん子供を委縮させるような高圧的な態度や愛情を伴わない暴力は慎むべきですがー。

また指導という言葉自体が憚られ、指導者自身が「お世話させてもらっている」という風な感覚に陥りがちですが、そうならないよう、指導は指導として貫くことが大切だと思っています。

◆同感です。その一方で、喜びを感じるのは？

子供たちが日々成長する姿を見られること自体大きな喜びですが、卒団生が成長した姿を見せてくれた時は格別です。結婚式で「少年野球の恩師です」と紹介された時などは本当に胸が一杯になります。（つづく）

いつでもどこでも何ぼでも 出前芝居うけてます

あんがいおまる座長に聞く

会社へ商店街へ介護施設へーどこへでも出かける出前芝居（写真は「大阪希望館設立記念集会」での演劇パフォーマンス）

いつでも、どこでも、何ぼでもーリクエストに応じて形や中身をどのようにもアレンジして届ける「出前芝居」が受けています。

届けるのは「あんがいおまる一座」と「ごくらくとんぼ一座」。どちらも波除のフリースペース「石炭倉庫」を拠点に活動する劇団で、十年以上続けてきました。両劇団の座長・あんがいおまるさんに訊きました。

あんがいおまるさん

◆一般の演劇と違うのはどんな点ですか？

ある時は福祉施設へ、ある時は会社の会議室へ、ある時は料亭へ、ある時は歌手の前座でーとどこへでも出前できること。それに、歌だけなら一人でも。上演時間は十分から。広さは畳一枚あれば。料金も特に定価はありません。内容的には料亭なら時代物、高齢者施設なら笑い沢山なものーとリクエストや場の雰囲気に応じて工夫します。

◆まさに驚異の柔軟性（笑）ですね。具体的な例をいくつかー

例えば市内のある料亭のお座敷では、春に『時三郎の夢ガラス』（江戸時代テーマパークのコンパニオン女性の前に現われた江戸時代の男が、色々なガラス細工を繰り出しながら綴る夢のような物語）を、秋には『千利休物語～花は野にあるように』（中世に茶の湯を大成させた千利休の生きざまをモチーフにしたフィクション）を、それぞれ季節の料理を楽しんでもらいながら二時間に亘って演じ、大変好評を頂きました。

また、神戸のデイケアハウスでは『季節はずれの幽霊』という喜劇を演じたのですが、一度も笑わなかった人が笑ったり、ほとんど喋らない人が役者の台詞に「ハイ」と返事したり、動くのが困難な人が劇に加わったりーと様々な〝ハプニング〟があり、あとで職員の方から「芝居セラピーになった」と、これも大変喜んで頂きました。

◆苦労するのは？

苦労はそう感じていません（笑）が、敢えて挙げれば、リクエストに応じて本来の上演時間を非常に短くする時ですね。基本は残しながら内容をどんどん削っていく作業は心身共に大変なものです。でもそれはまた新しいものを創り上げる楽しさでもあります。

◆港区の皆さんに出前芝居のアピールをー

百を超える作品から選んで頂けます。「朗読と組み合わせて」とか「ミュージカル風に」とかの注文もご自由に。不況に苦しむ商店街など、お役に立てる所ならどこへでも〝心の宅急便〟届けます。石炭倉庫（波除六ー五ー一八、JR弁天町駅から国道四三号を北へ直進、安治川堤防突当り右すぐ。☎六五八一ー〇六六四）で待ってまーす！

●あんがいおまる一座『戦う兵隊』『骨董屋主人』

反戦・反核・反差別の映画人亀井文夫の人生と思想を二本立て芝居で。二月公演好評につきアンコール上演。五月二日（日）十三時、十六時半、三日（祝）十一時、十四時半の四回。問合せは会場の石炭倉庫（前出）へ。

文化短信

●弁天町駅前にうたごえ喫茶

昭和三十～四十年代に大人気だった「うたごえ喫茶」が弁天町駅前に復活。ピアノなどの伴奏で童謡・唱歌、民謡などを合唱＝写真。喫茶名は『うたごえ倶楽部ねこじゃらし』。伴奏と歌唱リードは元大阪駅前「ともしび」主宰者。昼の部（主に土日）と夜の部（主に木～土）。波除五ー七ー六☎六五八一ー八七六〇。http://music.geocities.jp/club_necojyarasi/

芸能ミニ情報

●弁天在住の歌手・青木美香子さん

昨秋プロデビュー。二月二十八日ワッハホールでのデビューコンサート盛況。透明感ある歌声と幅広いレパートリーで人気上昇中。デビューCD（『ありがとう～おかあさん～』『ほれたんやから』『歌は人生』）好評▽青木美香子コンサート・イン・オーク＝五月九日（日）十三時半と十六時からオーク広場（弁天1）で。入場無料▽☎六七七〇ー六七五〇アップライトエージェンシー。

青木美香子さん

子や孫に自分の人生を残そう！

お話をききとり、冊子にしてお渡しします。

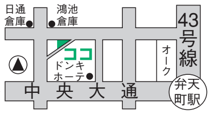
400字（原稿用紙1枚）で千円が標準料金です。

田中3-3-3 飯田編集事務所 ☎6571-4636

飯田一二回顧録
幼少期から年金生活まで
飯田久子

出版のことなら
社史・記念誌・企業PR誌・自伝・詩歌集
お気軽にご相談ください
地元の出版社
JDC出版
TEL6581-2811
FAX6581-2670
港区波除6丁目5-5

まごころサービスでお迎え！
初めての方もぜひ一度お立ち寄り下さいませ！
弁天3-24-3 ☎6574-2900
永大サービスのガソリンスタンド



豊かで、快適な暮らしを守る永大
安心できるお引っ越し
★当社は地元の方々へのサービスがモットーです。
★引越に伴う不要品を引き取ります（一部有料）。
トランクサービス
●建替え、増築などの一時預かりに最適！
●引越し、引取りが大幅に安くなります！
●ご連絡があり次第、当社がお伺いします！
安心保管
安さに挑戦 永大トランク引越サービス
0120-07-9990 TEL6584-7771 FAX6584-7773
■本社／港区波除6-2-9 ■http://wwwl.ocn.ne.jp/~eidai/
■受付／平日（月～金）AM8:00～PM7:00 （土日祝）AM9:00～PM6:00